

5

広島少年合唱隊

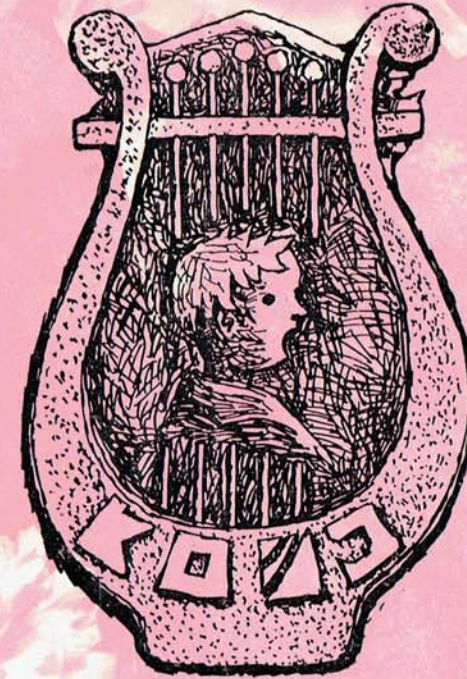
'64

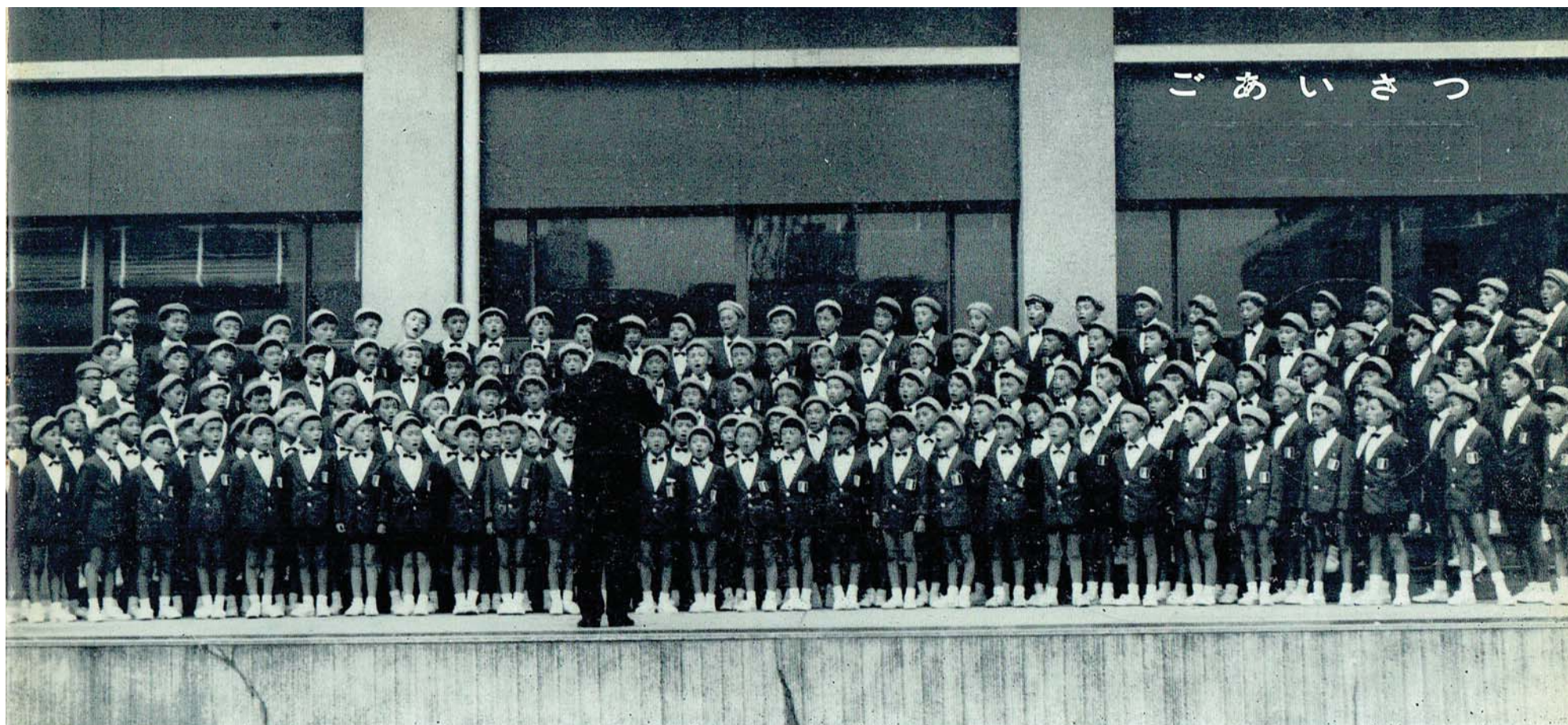
第5回 定期演奏会

広島少年合唱隊

とき 1964年11月3日(文化の日)PM.6:00
ところ 広島市公会堂
主催 広島少年合唱教室後援会

後援 広島市教育委員会
広島市小学校音楽研究会
中国新聞社
NHK広島中央放送局
ラジオ中国
広島テレビ





“清純な少年たちの歌声を伸ばし、明るい平和な町づくりに貢献する”
これがわたしどもの信条です。

時の流れは早いもので、この広島少年合唱教室が発足してから、すでに5か年という歳月を経ました。

その間、広島少年合唱隊としての活躍は年を追って盛んになり、強力な後援会も誕生して、組織の上でも一応安定しました。こうして、広島の特徴ある団体にまで成長してきたことはまことに喜ばしい限りであります。

しかし、その陰には、指導にあたる先生がたのご努力もさることながら、この団体の意義を認め、絶えず心からご支援くださった市民各位の有形無形のお力添えを忘れるわけにはいきません。

わたしどもは、市民の皆様から愛される団体として発展すべく、今後ますます精進することを固く誓っておるものであります。

この教室には、年間二つの大きな行事があります。その一つは、隊員の期待する三瓶高原における合宿練習会であり、いま一つは、毎年11月に公開する定期演奏会であります。

ことはちょうど5周年に当たるといので、指導者・隊員ともに大いに張り切っております。特にオペレッタは、広島の地方色豊かなものと考え、吉田文五先生をわずらわして、わざわざ書きおろして、もらっております。

みなさまのご期待に添うべく努力はいたしましたものの、未熟な点はなお多く、お聞き苦しいことも多いかと存じます。しかし、ひたむきに前進を続けようとしているこの広島少年合唱隊に対して、絶大のご声援が得られますなら、幸いこれに過るものはありません。

この5周年の発表会を一契機として、さらに一段の飛躍を試みる意欲を与えてくださるよう切望してごあいさついたします。

広島少年合唱教室

委員長 真木賢三

後援会長 大石行円

五周年を迎えて

隊長 樋口 正 司

少年たちの清純なうたごえを伸ばし、明るく美しい合唱をこの広島空にみなぎらせたい。そのことによって、平和都市ひろしまの町づくりの一翼をにないたい。

こんな悲願にも似た意欲にかられて、教育委員会や音楽研究会の強力な指導と支援により、《広島少年合唱隊》として産声をあげたのは昭和35年夏、ことしは5周年に当たります。

今、過去4回の定期演奏会のプログラムを開いてみると今昔の感まことに深いものがあります。

発足してまもないその年の秋には、大胆にも第1回の発表会を開きました。キャンプソングや学校唱歌などごく簡単なものばかりでしたが、満員の聴衆は、広島ではじめて生まれたかわいいボーイソプラノのために惜みなく拍手を送り、新聞その他の報道も大きくとりあげてくれました。その時の会場であった広島市児童文化会館は、昨年諸種の事情で姿を消してしまいました。わが合唱隊発祥の建物とよりどころを失ったことはまことに惜まれるとともに、時の流れを感じさせられます。

第2回は会場を基町高校講堂に移し、第3回からは待望の公会堂進出にふみ切り、1,800名の聴衆の前で多彩なプログラムをくりひろげました。この回から創作オペレッタを上演したことも特筆すべきものの一つです。

年1回の定期演奏会のほか、子ども音楽会・各種団体の主催する音楽会への出演あるいはラジオ・テレビ出演、さらに市外各地からの招待演奏等々、すでに数十回の出演記録を残しております。特に、毎年めぐってくる炎天下8月6日の平和式典に参列して捧げる「平和の歌」の合唱は、「ひろしまの少年合唱」という自覚と幸せを感じさせられます。

2年目からはじめた三瓶合宿は、合宿訓練はもちろん、生活を豊かにし、団体として意識を高めるためにたいへん効果をあげており、澄み切った夏の高原での共同生活は、子どもたちにとっても終生忘れ得ぬ印象を与え、今では、欠くことのできない一大年中行事となっております。

一応順調に育ったわが合唱隊にも、練習会場、練習時間、隊員の中退、運営ならびに指導陣の手不足等々、情熱だけでは解決できない問題が山積しており、幾度か大きな壁にぶちあたりました。しかし、その時に最も大きな支えとなり励ましてくれたのは150名の子どもたちです。清純そのものの子ども、無限の可能性をひめている子どもたちの姿でした。

揺らん時代を過ぎたわが合唱隊は、この子どもたちに勇気づけられて、次の飛躍にそなえております。

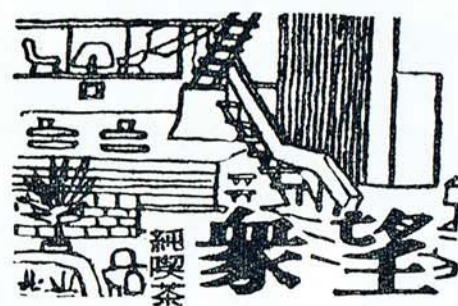
清澄な宗教音楽・美しい東西の名曲・明るい子どもの歌・民族の血の流れている民謡・それに親しまれた学校唱歌、さらには総合芸術としてのオペレッタ等々。レパートリーをひろげるとともに、それらのもつほんとうの味を出し、少年独特の美しい合唱にまでのしあがたいとの意欲に燃えております。

幸い関係当局の深いご理解と後援会の強力なご支持および市民のかたがたの温い愛情につつまれて、理想実現の日まで歌い続けることを誓います。

より 清く

より 明るく

より 平和に



広大本部食堂を 始めました

喫茶部 広島市立町27
電話 28-1311-4
キッチン衆望 広島市平田屋町53
電話 21-0514
郵政局喫茶室 広島市基町5
電話 21-5181
広大工学部店 広島市千田町
広大本部店 広島市千田町

新刊書籍 / 雑誌

広文館書店

本通り店 電話 21-1725番

金座街店 電話 21-5921番

プログラム

1. 宗教音楽

- キレエエレソソ
- きよき主, イエスよ
- クリスマスの鐘
- アレルヤ
- 主よ, たのみて祈る。ねがいを

グレゴリオ聖歌
フォーレ作曲
外国曲
モーツァルト作曲
メンデルスゾーン作曲
木岡英三郎訳詞

本科 B 組
指揮 辻 敏
伴奏 川島敏子

2. 学校唱歌

(低学年の歌から)

- 夜 汽 車
- ほ う い ほ い
- 森 の ま つ り
- ぼ く の 自 転 車
- お月さんとかえるのこども
- 村 の か じ や

ドイツ民謡
勝 承 夫 作 詞
平岡均之 作 詞 曲
平岡均之 作 曲
ドイツ民謡
長 田 恒 雄 作 詞
フランス曲
緑 川 明 作 詞
葛原しげる 作 詞 曲
小松耕輔 作 曲
文 部 省 唱 歌
山 脇 三 郎 編 曲

予 科
指揮 鷹 下 昭 一
伴奏 波 辺 富 美

3. 学校唱歌

(高学年の歌から)

- 思 い 出
- か り が わ た る
- ふ る さ と
- 仲 よ し 円 舞 曲

古 関 吉 雄 作 詞 曲
ベ イ リ ー 作 曲
永 柴 良 暁 編 曲
文 部 省 唱 歌
文 部 省 唱 歌
深 尾 須 磨 子 作 詞 曲
高 田 信 一 作 曲

本科 A 組
指揮 清 水 源 康
伴奏 永 柴 良 暁

4. 名曲から

。歌のつばさに

メンデルスゾーン作曲
津川圭一訳詞

本科C組

。ま　　　　す

シューベルト作曲
堀内敬三訳詞

指揮 森川明水

。ブラームスの子守歌

ブラームス作曲
武内俊子訳詞

伴奏 福井幸子

。流　浪　の　民

シューマン作曲
石倉小三郎訳詞

<休　　憩>

5. オペレッタ

亥　　の　　子　　石

吉田文五作曲
永柴良暁作

本科A組

演出 清水源康

音楽 永柴良暁

舞台 広島舞台美術

照明 篠本秀吉

6. 子どもの歌

。もりのよあけ

与田準一作詞
中田喜直作曲

子　　科

。もんしろちょうのゆうびん屋さん

サトウハチロー作詞
中田喜直作曲

指揮 鷹下昭一

。ゆうらんバス

小林純一作詞
中田喜直作曲

伴奏 波辺富美

。おはなのおくにのきしゃぼっぼ

小林純一作詞
中田喜直作曲

。夕方のおかあさん

サトウハチロー作詞
中田喜直作曲

。お月さんと坊や

サトウハチロー作詞
中田喜直作曲

7. レパートリーから

。お江戸日本橋

江戸わらべうた
平井康三郎編曲

本科合同

。小　鳥　の　歌

深尾須磨子作詞
橋本国彦作曲

指揮 樋口正司

。合　唱　讃　歌

平井康三郎作詞作曲

伴奏 福井幸子